

千年の森便りNo.5

20040211



ちば千年の森をつくる会
TEL&FAX 043-432-1450
E-mail:mmanabe@h4.dion.ne.jp

けいじばん

1. 次回活動のお知らせ

(集 合) 3月19日金曜日9時45分森林館駐車場

(メニュー) きのご植菌、休憩所イスづくり、16年度活動計画、特用林産物調理試食など

(携行品) 鋸、鉋、あればチェーンソー、あれば一輪車、お椀又はマイカップ (各自)

2. アンケート調査結果

調査結果のまとめは別添の通りです。この結果は新年度の活動計画などに積極的に活用します。

3. H16 年度活動計画

活動内容や日程その他要望・意見など2月末までに上記アドレス宛メールか FAX 下さい。

活動の記録

1月26日(月曜日)快晴 出席会員5名、小平室長ほか林業研究センター、県民の森等関係者多数

○県民の森炭焼き小屋において炭焼き実習;(窯出し)炭塵もうもうの窯に2名交替で潜り菰やバケツに詰め搬出、顔も鼻穴も真っ黒。選別・切断・梱包はプロにお任せ。(薪割り)115cm長のコナラやかし類を2分割又は4分割。(炭材立込み)90~115cm長の炭材を倒れないように密に垂直に積み込み、低い窯の天井に頭をぶっつけながら中腰作業、30分交替で3時間余。

(炭運び)快晴の豊英島へ米袋詰め8包運び、「特用林産物」調理用にブルーシート覆い保管。

2月8日(日曜日)快晴 出席会員19名、同伴者2名、小平室長ほか県関係者2名、総勢24名

○玉切り:11月伐採のコナラ等をきのご原木用に90㍍長に玉切り、チェーンソー3機+訓練1機、爽快な騒音、二人曳き鋸試行。

○運搬・片付け;百キロ超えるような丸太を転がしたり一輪車や重量揚げ力比べなどで汗を流し、景観林側置場に運搬。残枝等も人海戦術で片付けコナラ今年度更新林はすっかりスッキリ。

○ヒラタケ植菌;当日伐採したシデを15㍍長に玉切りして原木づくり、切り口の合う2個を一組として、種菌1:米糠1:オガコ2を混合し水を加えた混合種菌を木口に約1㍍厚さ接種しサンドイッチ、ガムテープで周囲を密着固定、天井にまじないの木の葉を乗せて紐結束、ポリ袋で包みこもれば広場木陰に仮伏せ。植菌した各一組を各自自宅栽培のため持ち帰り。

○特用林産物調理と昼食

小平室長指揮で早朝から準備されたエゾシカ燻製にきのこやフキノトウ・椿の花びら・ヨモギの天麩羅、きのこ入りトン汁の豪華な昼食。小平、手島、加藤、吉田、松本さまご馳走さま。

[爽快な騒音で玉切り作業]



[数と馬力でコナラ林はスッキリ]



[秋の収穫は?ヒラタケ植菌]



快晴の冬の楽しい一日でした。小平室長有難うございました。2時間早出の皆様ご苦労様でした。参加会員の皆様お疲れ様でした。今回欠席の方も次回活動に奮ってご参加下さい。

「千年の森」アンケート調査結果のまとめ

2月10日現在提出者25名の集計

希望の活動頻度	○年10日以上 4名 ○年6～10日 17名 ○年6日以下 4名
希望の活動日	○土曜日 11名 ○日曜日 12名 ○祝祭日 6名 ○平日 4名
参加出来ない日	○土曜日8名 ○日曜日 2名 ○祝祭日 2名 ○平日11名 ○月曜日 1名 ○火曜日 2名 ○水曜日 2名 ○木曜日 2名
活動参加の意向	○積極的に参加10名○制約あるが出来るだけ参加14名○当面参加を休止 2名
小作業班参加の意向	○カメラ班2名 ○木工班5名 ○植物班11名 ○動物班5名○炭焼き班10名 ○きのこ班11名 ○その他(調理 2名、畑1名)
活動日時に関する意見	○活動日を第何×曜日のように固定した方が参加しやすい○特定曜日に固定しないで欲しい○平日と休日同じ活動内容で企画しどちらかに参加出来るようにする○活動日以外に開放日(入出門のみ管理し会員自由に入林可能な日)を設けては○年間活動計画を決める(?)○活動開始時刻を1時間早めて9時開始とする
活動内容に関する意見	○動物調査などの活動を企画・実行したい○森林保全の勉強会○森づくりの理論編を年数回○体と頭を使うチャンスを適度に○樹木や野草の名前を毎回短時間2・3種類○他県の活動見学・交流○他グループとの交流○きのこ・たけのこ・山野草・木工など森の遊びを増やす○豊英島での宿泊キャンプ
「千年の森」の活動に何を期待するか	○森林整備作業自体がレジャー、夢は森林と林業の復活、そのため行政への発言も重要○景観の良い植栽風景づくりに期待○森林公園的整備保存には興味ない、里山的自然を大事にしたい、里山の動態保存を地域・流域とともにやりたい○自然環境の保存、共存のために少しだけ人の手を加えるだけでよい○日々の生活から離れ「癒しの森」づくりに参加し森からの知識を得たい○森づくりの技術と知識の習得○10年活動し森について語れるようになりたい○森の活動を通じて仲間づくり、親睦(同意見3件)○実体験から得る知識、楽しみ、人の輪の拡大○日頃出来ない体験を通じて自己実現(専門的なテーマの研究)○大きな達成感を味わえるような目標を年の一つもって活動したい○気持ちよく汗を流す○大地や樹木や草花に触れ時間を忘れ原始人に戻りのんびりと心身を癒される～それだけで十分という気持ち、成果をあせらず楽しく息長く活動したい
その他の要望・意見	○全体で同じことをするより班別活動が良い○小グループで役割分担した活動が良い○会員の多様な価値観と要望に応える工夫が必要○少なくとも20名程度は集まるような工夫が必要○チェーンソー、刈払い機など講習の機会が欲しい○二人曳き鋸をトライ ○近くに駐車場の確保を要望

結果のまとめ

- 1.希望の活動頻度；殆どの会員が年6～10日又は10日以上を希望。
- 2.希望の活動日；平日と土曜日は参加に支障のある会員が多い。日曜日は参加に支障のある会員少なく、約半数の会員の希望活動日となっている。
- 3.活動への期待；豊英島の活動に対する会員の希望・期待と価値観は多彩・多様で画一的ではない。
 - ①森林整備作業中心の活動で良いとする意見もあるが、多くの会員は作業以外に森の学習、実技研修や森遊びへの期待がある。「癒し」や仲間づくりへの期待も多い。
 - ②「つくりたい」森のイメージも「里山的な森」、「景観の良い森」「林業的な森」など多様。
 - ③定例的、全体的活動のほかに班・小グループ活動や「開放日」など「活動方法の多様化」を求め提案もみられる。

この調査結果は今後の活動計画および会の運営に反映させるよう努める。